

道徳科学習指導案

令和3年12月14日(火) 第5校時 第5学年3組(5年3組教室)

【主 題】人とどう付き合っていくのだろう(内容項目B10「友情, 信頼」C13「公正, 公平, 社会正義」)
『ミレーとルソー』『ガンジーのいかり』『「スイミー作戦」「ガンジー作戦」』

考察	道徳的価値についての理解 (学習活動)	自己の生き方についての考え (学習活動)	道徳性(育成を目指す資質・能力) <small>(道徳的判断力, 道徳的心情, 道徳的实践意欲と態度)</small>
育成を目指す 資質 能力	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と互いに信頼し, 磨き合い, 高め合うような真の友情を育むことのよさを理解すること。 ・差別や偏見を自分自身の問題として捉え, 立ち向かうことの大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生活経験を基に, 真の友情を育むことのよさや差別や偏見と向き合い, 公正, 公平な態度で行動することについて, 友達や教師と話し合いながら, 自分なりに考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと真の友情を育み, 互いを尊重して生活していこうとする道徳的实践意欲と態度を養う。 ・差別や偏見は決してゆるしてはいけないという毅然な態度で向き合っていく道徳的实践意欲と態度を養う。
児童の 実態	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを理解し, 互いに助け合う存在であることは理解しているが真の友情を育むことのよさは理解していない。 ・差別や偏見がいじめなどの問題につながることは理解しているが, 差別や偏見を自分自身の問題として捉え, 立ち向かうことの大切さは理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の児童は, 真の友情を育むことのよさや差別や偏見と向き合い, 公正, 公平な態度で行動することについて自分なりに考えている。 ・多くの児童は, 真の友情を育むことのよさや身近な差別や偏見と向き合い, 公正, 公平な態度で行動することの難しさに気付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と助け合うことのよさについて考えることはできているが, 互いの人格を尊重しようとする道徳的心情はもてていない。 ・誰に対しても分け隔てなく接することを意識して行動することはできているが, 周囲の雰囲気や人間関係に流されずに行動するような道徳的判断力はもてていない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・人は人と関わっていくことで成長をしていく。なぜなら, 自分とは違った価値観, 経験, 考え方をもち他人と関わっていく中で共感し, また, 時には衝突し, その中で, 人の多様性に気づき, 他者理解を深め, 人との人間関係を築いていけるからである。しかし, 高学年児童は, 仲のよい友達とばかり関わり, 閉鎖的な集団をつくってしまったり, 相手への差別や偏見がいじめにつながることは分かっているのに, 自分自身の問題として立ち向かうことができなかつたりすることがある。そこで, 真の友情や差別や偏見などの問題について考えることを通して, 人と関わることの難しさ, よさに気づき, 自己の生き方と照らして考えようとする道徳的实践意欲と態度を養えるようになる。 		

	<p>・うそをついてまでミレーの絵を買った（ルソー），偏見や差別に一人でも屈せず立ち向かった（ガンジー），いじめに負けないための作戦を考えた（憲二，良夫）の姿から，真の友情を育てていくこと，身近な差別や偏見と向き合い，公正，公平な態度で行動することについての問題意識をもつことができる。登場人物の心情や状況に着目しながら課題を追求していく中で，互いを信頼し，磨き合い，高め合うような真の友情のよさ，差別や偏見に立ち向かうことの大切さに気付く。そして，自分が人と付き合う中でどう行動していくべきか自己の生き方と照らして考えられるようになる。</p>
見方・考え方	<p>友達と互いに信頼し，磨き合い，高め合って友情を深めていくこと，身近な差別や偏見と向き合い，公正，公平な態度で行動できることについて，自己との関わりで多面的・多角的に捉え，これからの自己の生き方について考えること。</p>
今後の学習	<p>6年で，互いの人格を尊重し合って人間関係を気付いていくこと，社会正義の実現について考え，自覚を深めていく学習へと発展していく。</p>
他の教育活動との関連	<p>・人との付き合い方を考えることについて 例：授業内外で友達と会話をする場面，生活の振り返りをする場面</p>

テーマ課題の決定の流れ

問い：みんなは友だちとうまく付き合うことができていますか。（無記名でのアンケート）

- ・できている 10人
- ・できていない 24人

（特定の人としか話せない，怒ってしまう，傷つけてしまっている，しつこくしてしまう，平等にできていない など）

テーマ課題：「人とどう付き合うのだろう」

① ミレーとルソー 友情，信頼

ねらい：本当の友達とはどんな友達か話し合うことを通して，本当の友達とは，時には相手のために自分を犠牲にすることができる関係であることに気づき，互いの人格を尊重し，互いに磨き合い高め合って生活をしていこうとする道徳的心情を養うことができる。

② ガンジーのいかり 公正，公平，社会正義

ねらい：差別をなくすために必要なことを話し合うことを通して，差別は相手を傷つけ，周りの人も傷つけることに気づき，どんなことがあっても絶対に差別はしてはいけないという道徳的心情を養う。

本時の学習（3／3時間目）

ねらい 人がいじめや差別をしてしまう理由について話し合うことを通して、いじめや差別は人の心の弱さが原因であることに気付き、どんなことがあっても絶対にいじめや差別はしてはいけないという道徳的判断力を養う。

評価の視点 いじめや差別という問題とどう向き合うかについて、教材の状況や生活経験を基に、多面的・多角的に考えたことを発言したり、記述したりしている。 <発言・タブレット>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 教材を読み、学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 差別は絶対にしてはいけないことだったな。今日も人とどう付き合うか考えていきたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> スイミー作戦はよさそうだな。でも、1人だったらどうしたらいいのだろう。そして、なんで人はいじめをするのだろう。（課題意識） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ課題「人とどう付き合うのだろう」への方向付けができるよう、これまでの授業で考えてきた人との付き合い方を問いかける。 ○いじめや差別をする理由についての問題意識をもてるよう、教材「スイミー作戦・ガンジー作戦」の範読後、作戦を実行する理由を問いかける。
<p>学習課題：どうしていじめや差別があるのだろう</p>	
<p>2 学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなと違っている考えをおかしいと思うから、いじめが起ってしまったのだろう。 人の弱さっていうものもあるだろうな。自分より弱いものがあることで安心するっていう気持ちも分かるな。 自分の弱さから、相手を差別することで自分を守ってしまったことがあったな。でも、それはしてはいけないことだな。 やっぱり自分だけは、いじめられたくないという弱さから周りに合わせてしまっているのだろうな。 相手の気持ちになって考えると自分のしている行動は相手を傷つけ、周りにも嫌な思いをさせているのかもしれない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> どんなことがあってもいじめや差別は絶対にしてはいけないことだな。周りに流されない人になりたい。（課題を解決した意識） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対する自己の考えを自覚できるよう、タブレットに学習課題に対する考えを書くよう促す。 ○学習課題に対する自己の考えが一方的であることに気付けるよう、タブレットで児童の回答を共有し、理由を聞きたい考えに印を付けるよう促す。 ○学習課題に対する自他の考えを多面的・多角的にすることができるよう、友達に自己の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりするよう促す。 ○いじめや差別に立ち向かうことの難しさに気付けるよう、いじめや差別がなくなる理由を問いかける。 ○いじめや差別は決してしてはいけないことに気付けるよう、いじめや差別により起こりそうなことを問いかける。
<p>3 テーマ課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめや差別は絶対にいけない。これからは、人と付き合う中で誰も傷つけることなく相手のことを考えて生きていきたい。そうして生きていく中で本当の友達ができるといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これからの生活への見通しをもてるよう、テーマ課題に対する考えをタブレットに書くよう促す。